

セッション 18 - レポートの作成

このセッションでは、プロセス文書(ベリカットレポート)の作成方法を示します。レポートには工具マネージャーレポートとシミュレーションレポートがあり、切削工具の画像、工具交換時の切削ワークの画像、切削工具ごとの情報を表示します。

The screenshot displays two overlapping browser windows showing VERICUT Reports.

Left Window: session_18_create_re...

VERICUT Reports
Created by: YAMAGUCHI 2021/11/16 14:45:13
TOOL LIBRARY REPORT
Tool Library Name: session_18_create_report.its

工具イメージ	ID
	1
	2

Page 1 of 3

Right Window: session_18_report_si...

Programmer Name: Student 2021年11月16日 15:05:39


Part Number	Stock Material	Setup	Machine
	Titanium+6Al4V+HRC37	1	Makino_D200Z

Thumbnail	Comments
	ビューキャプチャー: 工具交換: 行番号: 11
	ビューキャプチャー: 工具交換: 行番号: 2993
	ビューキャプチャー: 工具交換: 行番号: 3390

Page 5 of 7

トレーニングのプロジェクトファイル session_18_create_report.vcproject を開いた状態から始めます。

1. 寸法を入れて工具マネージャーレポートを作成する

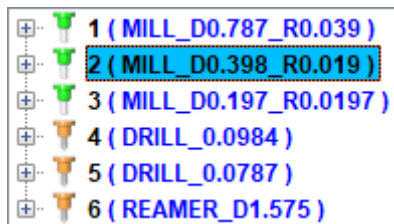
- プロジェクトツリーで、 工具: session_18_create_report をダブルクリックして工具マネージャーを開く


工具マネージャーで、以下の手順を踏みます。

- (1) 工具の断面表示
- (2) 工具に寸法を記入
- (3) レポートテンプレートを編集
- (4) 工具レポートを作成

(1) 工具の断面表示



- 工具テーブルで工具 2 を選択



- リボンバーで[ビュー]タブ>  (断面)




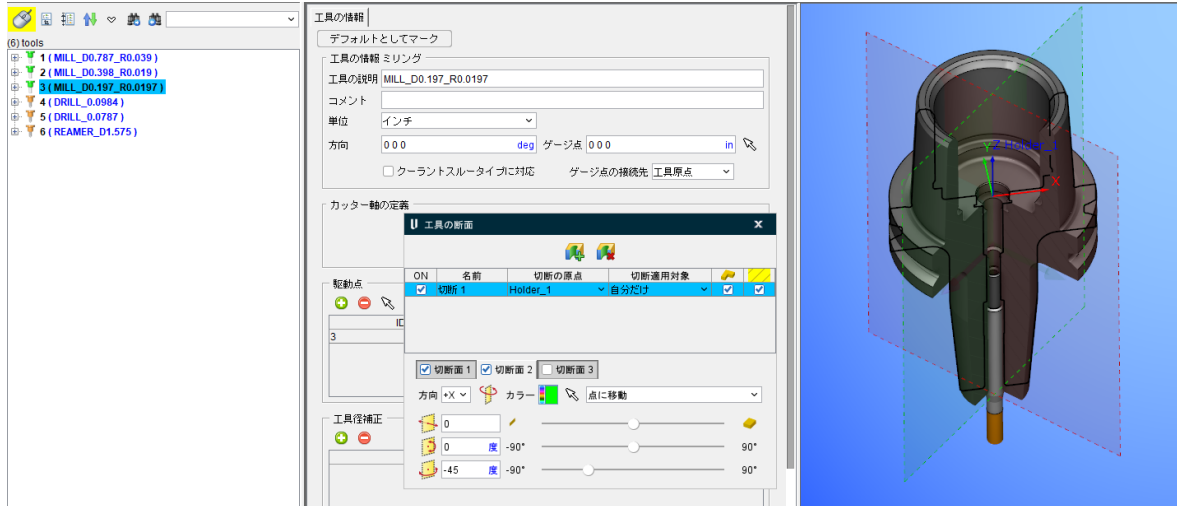
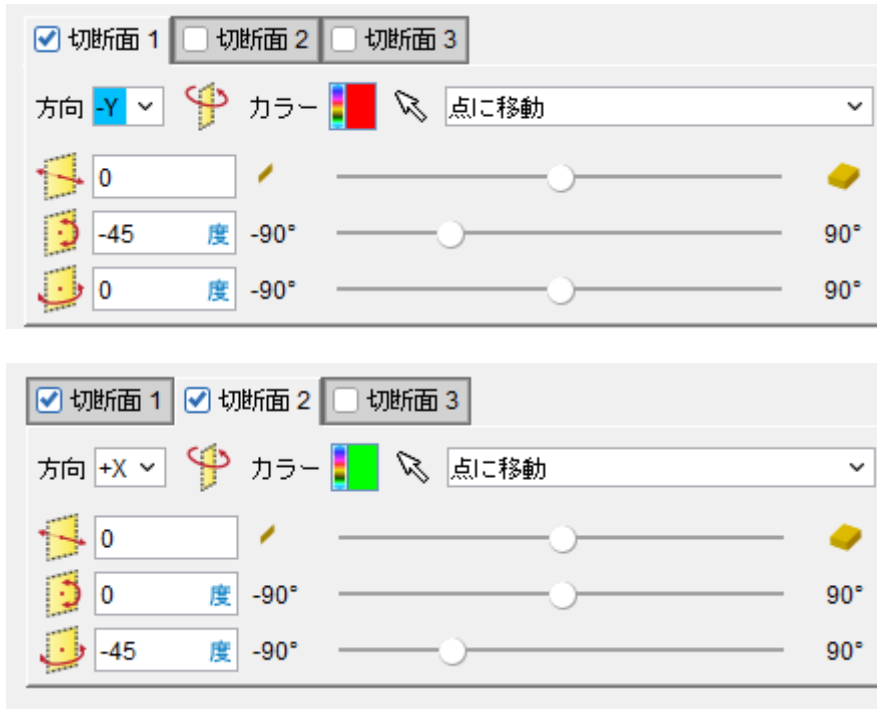
セッション 18 (v9.6)

-  (新しい切断を作成) を選択
- 切断面 1 にチェック
- 切断の原点 = Holder_1
- 切断適用対象 = 自分だけ
-  (クロスハッチング) をオン
- 方向 = -Y




- [断面]ウィンドウを閉じる

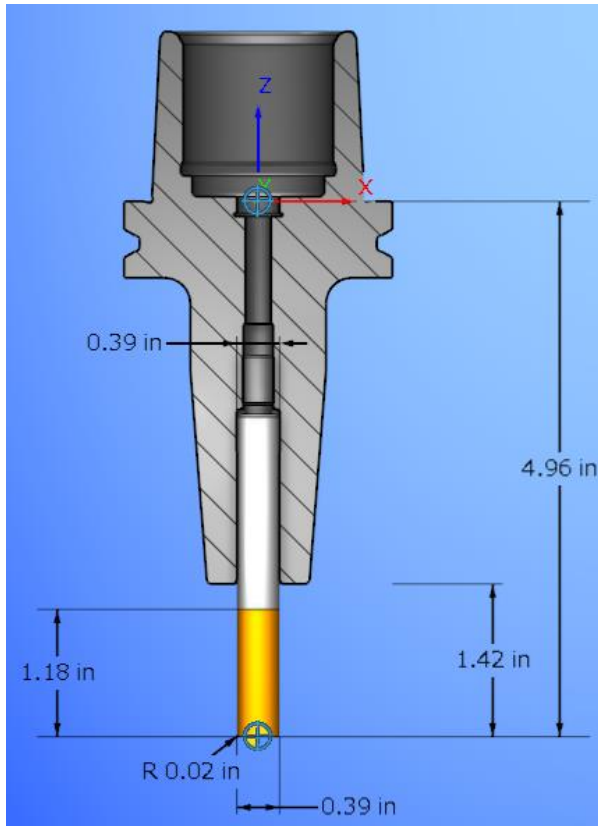
- 工具テーブルで工具 3 を選択
- リボンバーで[ビュー]タブ>  (断面)
- 切断面 1 と切断面 2 を下図のように設定




- [断面]ウィンドウを閉じる
- 工具 4、工具 5、工具 6 も適切に切断する

(2) 工具に寸法を記入

- 工具テーブルで工具 2 を選択
- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (工具の注釈)



注記: 「工具の注釈」機能で、工具マネージャーファイルにある各工具のデフォルト寸法を表示します。

- リボンバーで[X キャリパー]タブ> [ラベル]グループ>  (拡張設定)

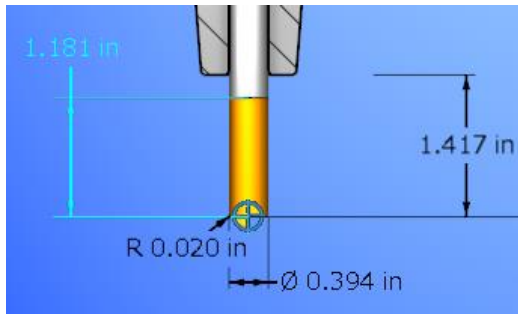
注記: 「拡張設定」機能で[ラベル設定]ウィンドウが開き、測定ラベルに対してデフォルトで表示される情報を管理できます。このウィンドウでの設定変更は、次回の測定から有効になります。この設定は環境設定ファイルに保存されます。ラベル設定は、ビューのウィンドウでラベルを左クリックして現れるメニューでも変更できます。

- 小数点以下 2 桁の寸法表示を、3 桁に変更する
- 直径/半径(in)=3

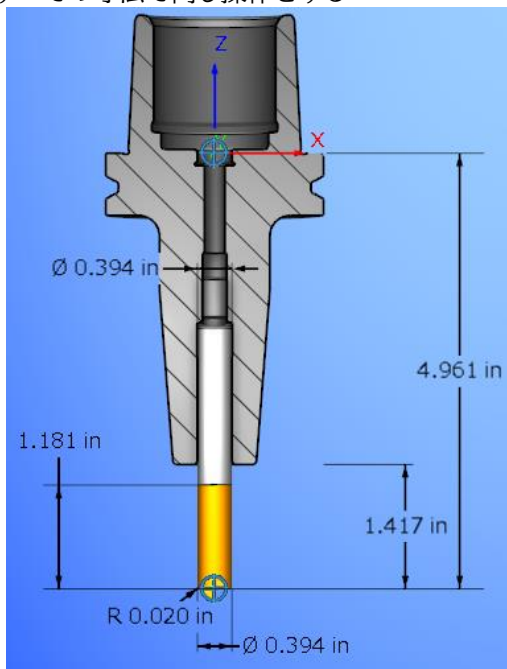
小数点の位置	
距離 (in)	3
直径/半径 (in)	3
距離 (mm)	3
直径/半径 (mm)	3
角度	1
補助	
単位系を表示	<input checked="" type="checkbox"/>
矢印のサイズ	1
レポートに表示	
駆動点	<input type="checkbox"/>
ゲージ点	<input type="checkbox"/>
自動寸法	
ゲージ点から駆動点へ	<input checked="" type="checkbox"/>
パラメーター工具	
APT 7 の E/F	<input type="checkbox"/>
APT 7 の A/B 角度	<input checked="" type="checkbox"/>


セッション 18 (v9.6)

- 寸法の数字をどれか1つ選択し、マウスボタンを押したまま移動し、希望する位置に数字を再配置
注記: 寸法が選択できない場合は、測定アイコンのどれかを選択して測定モードにします。



- すべての寸法で同じ操作をする



- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (カスタムビューを保存)


注記:




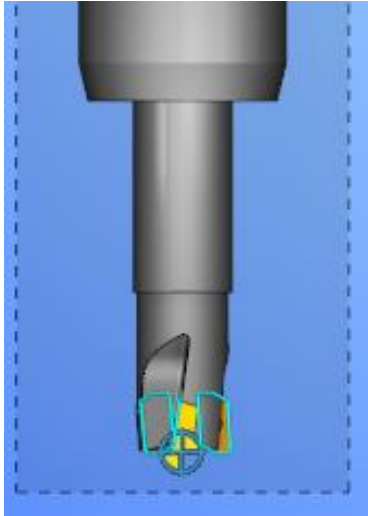
(カスタムビューを保存)の機能で、特定の工具の寸法変更とビューの向きを保存できます。



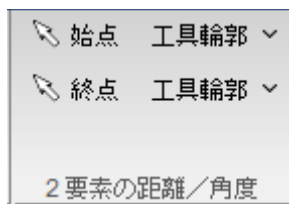
(デフォルトビューを復元)の機能で、寸法変更とビューの向きを削除し、デフォルト表示に戻します。


-  (工具の注釈)をオフ

- 工具テーブルで工具 1 を選択
- リボンバーで[X キャリパー]タブ>[ラベル]グループ>  (注釈面を設定)



- リボンバーの[X キャリパー]タブ>[2 要素の距離／角度]グループ
- 「始点」と「終点」のプルダウンから、「工具輪郭」に設定




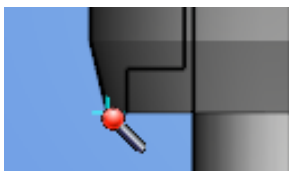
-  始点 をクリックすると、メッセージ領域の上側にヒントが表示される

「From」を選択する

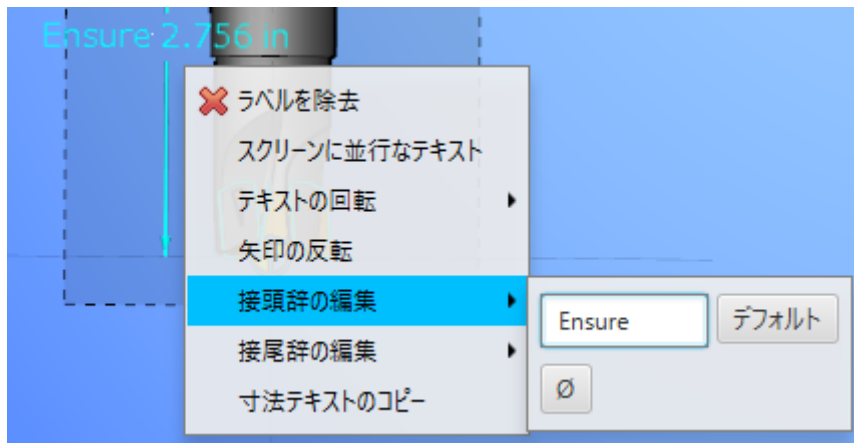
- カーソルを動かし、下図の直線をピック(工具の突き出し長を測るため)



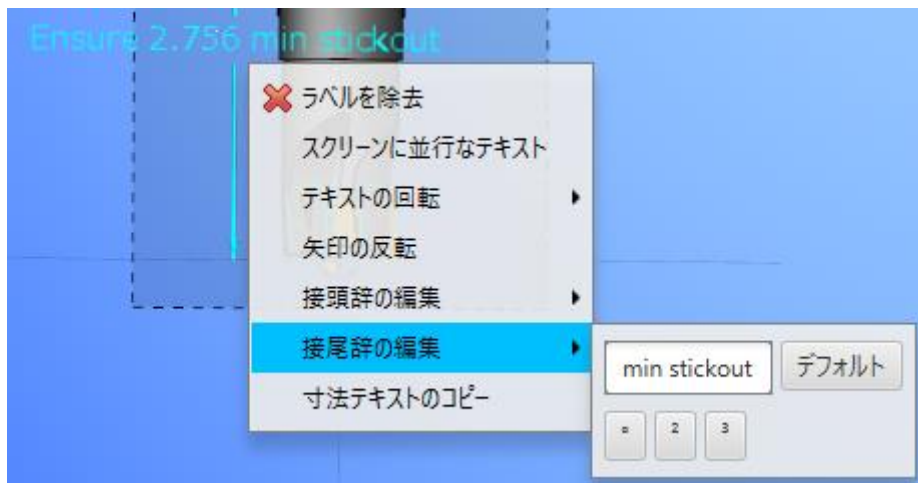
-  終点 に移るので、下図のホルダー輪郭をピック







- 測定寸法の左クリックから、「接頭辞の編集」を選択して下図のように「Ensure」と入力
(※日本語の IME 入力には対応していません)

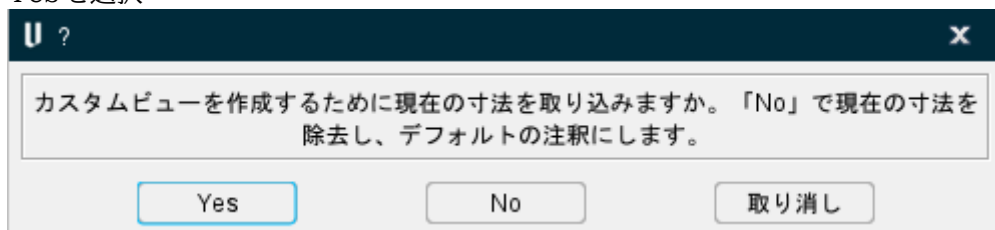



- その下の「接尾辞の編集」を選択して下図のように「min stickout」と入力
希望する位置に表示を再配置




注記：[ラベル]グループの[テキスト表示]のカラーパレットアイコン  テキスト表示  で、寸法のカラーを指定します。[フォントサイズ]  で、寸法テキストのサイズを選択できます。

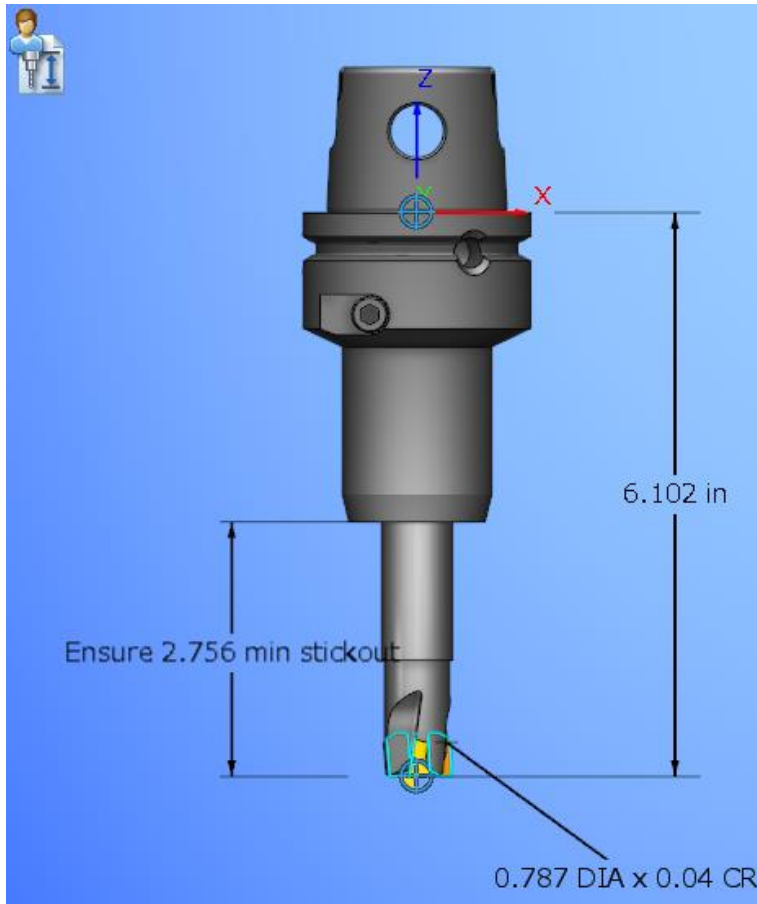
- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (工具の注釈)
- Yes を選択




- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (カスタムビューを保存)


セッション 18 (v9.6)

- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (固定位置注記を追加)
- 注記「0.787 DIA x 0.04 CR」を入力し、希望する位置に再配置 注記を左クリックして引き出し線を追加



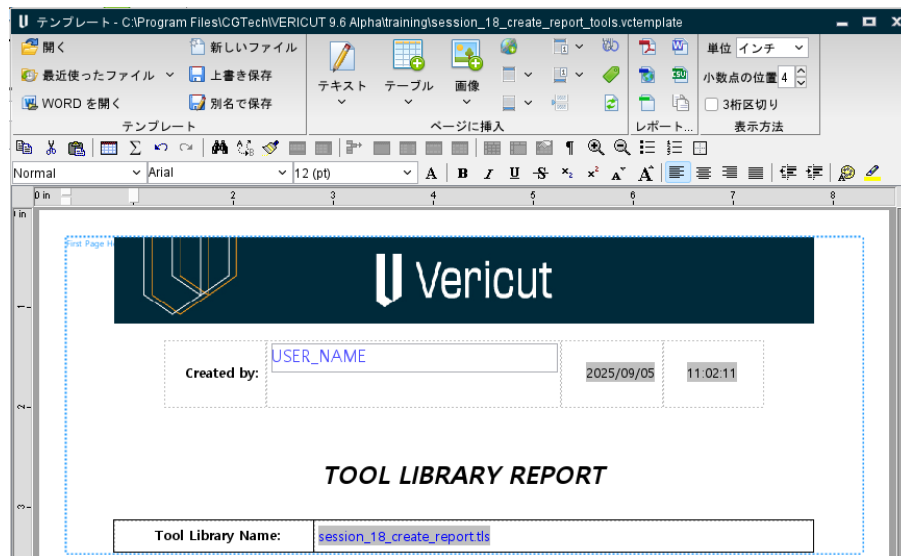
- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (カスタムビューを保存)

すべての工具で寸法設定を行います。工具をカスタマイズした後は忘れずに、「カスタムビューを保存」します。


- リボンバーで[工具]タブ>  (別名で保存)
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session_18_create_report.tls
- 保存

(3)レポートテンプレートを編集


- 工具マネージャーのリボンバーで[各種レポート]タブ>[テンプレート]>プルダウンリストから「編集」を選択

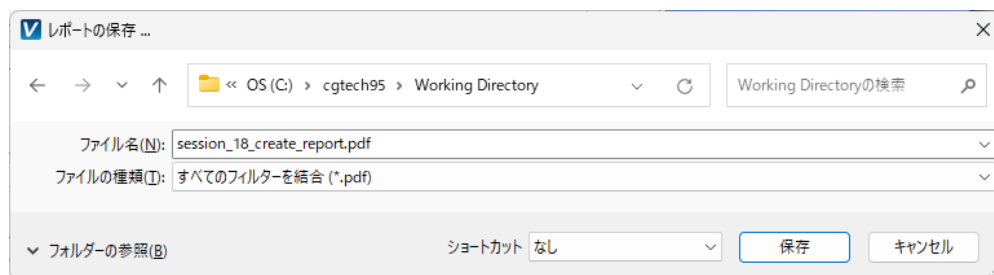


注記：[テンプレート]ウィンドウでは、新しいレポートテンプレートの定義と既存のレポートテンプレートの修正ができます。また、レポートを作成する他に、作成したレポートを HTML と PDF の形式でプレビューできます。

- [テンプレート]ウィンドウのリボンバーで、 (開く)
- ショートカット=トレーニング
- ファイル名=session_18_create_report_tools.vctemplate

このテンプレートを使って、レポートを作成します。

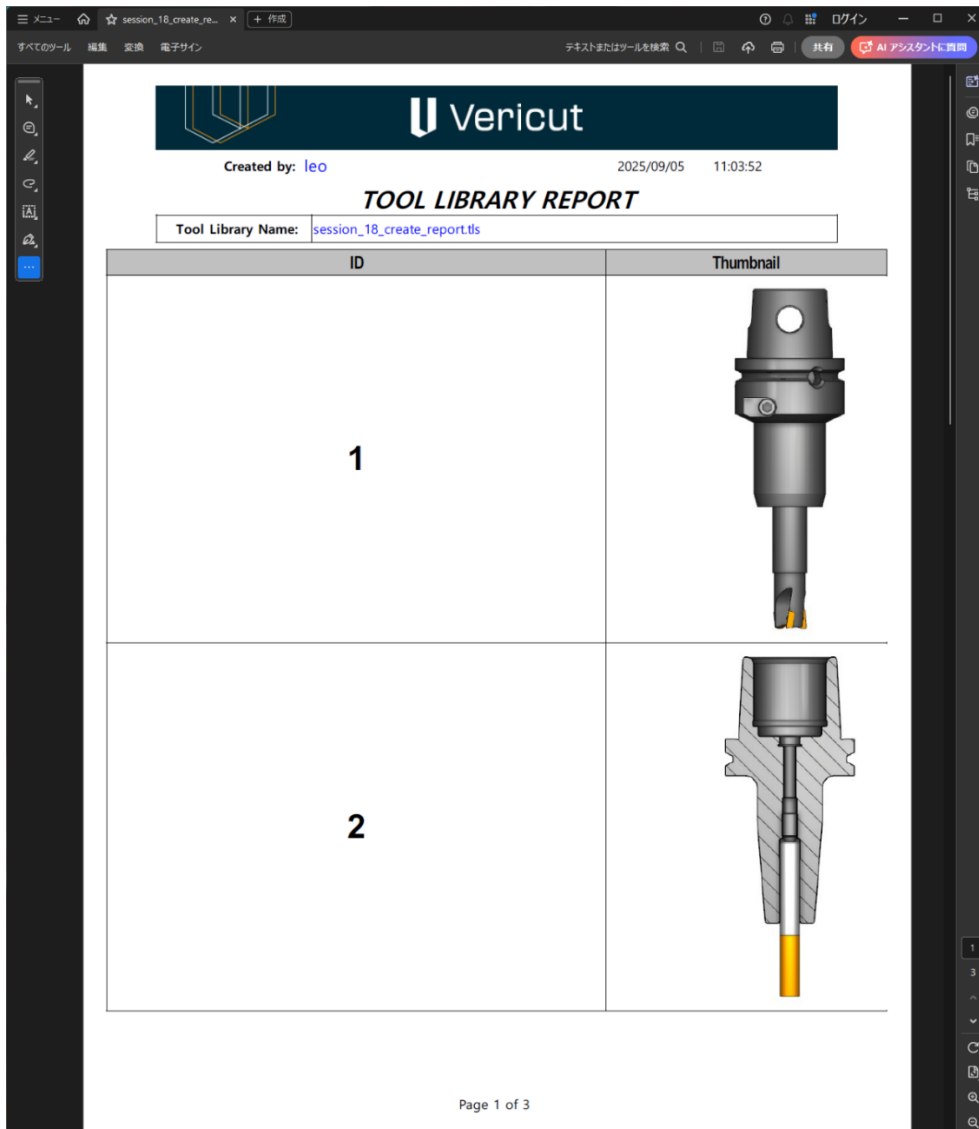
- [テンプレート]ウィンドウのリボンバーで、[レポートの作成]グループ>  (PDF)
- [レポートの保存]ウィンドウで、作成する PDF のファイル名を指定



- [各種レポートタブ]>[ユーザータグへの入力]から作成者の名前が入力できる

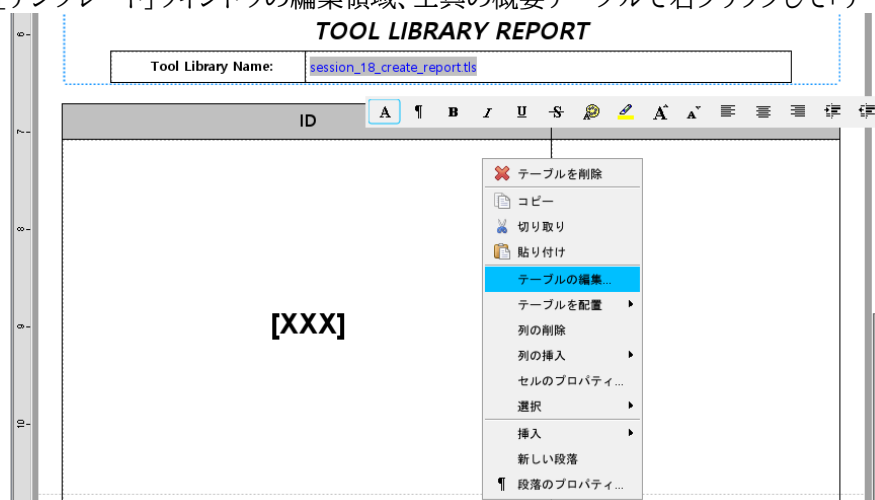
注記：「ユーザータグへの入力」コマンドボタンをクリックすると「ユーザータグ」ウィンドウが開き、ペリカットレポート作成前に、ジョブに固有の情報を「汎用」ユーザータグに割り当てできます。必要に応じて、開いているセルに関連情報を直接入力します。すでに定義されているセルを編集するには、レポート テンプレートウィンドウを使います。

セッション 18 (v9.6)



このテンプレートを修正して、レポートを作成します。




- PDF ファイルを閉じる
- [テンプレート]ウィンドウの編集領域、工具の概要テーブルで右クリックして「テーブルの編集」をピック




U 工具のテーブル

列	ヘッダー	小数点の位置
ID	ID	不適用
縮小画像	Thumbnail	不適用

追加... 削除

テーブルの幅 ☒ 100% ☐ 8 インチ テーブルの配置   

枠の太さ ピクセル 枠のカラー 

画像の高さ インチ 画像の背景カラー 

画像の幅 インチ

☐ テーブル内の改ページを認める ☐ 代わりの行の背景カラー

背景画像 

閉じる

注記：[工具の概要テーブル]ウィンドウの機能で、工具ライブラリーレポートを作成できます。[工具の概要テーブル]ウィンドウは、[工具マネージャー]ウィンドウのリボンバーの[各種レポート]タブ>[テンプレート]から[テンプレート]ウィンドウを開いたときだけに使えます。

- [縮小画像]の隣のプルダウンを使い、「寸法付きの工具画像」を選択
- ヘッダーを「工具画像」に変更して<Enter>

U 工具のテーブル

列	ヘッダー	小数点の位置
ID	ID	不適用
寸法付きの工具画像	工具画像	不適用

追加... 削除

- ヘッダーが更新される

TOOL LIBRARY REPORT

Tool Library Name:

ID	工具画像

セッション 18 (v9.6)

- 「寸法付きの工具画像」の左の□を選択し、テーブルの最上部へ移動

テーブル 工具テーブル		
列	ヘッダー	小数点の位置
寸法付きの工具画像 ▼	工具画像	不適用
ID ▼	ID	不適用
工具の説明 ▼	工具の説明	不適用

- [番号]を選択し、「追加」ボタンを押す
- [縮小画像]の隣のプルダウンを使い、「工具の説明」を選択
- [閉じる]を選択

TOOL LIBRARY REPORT		
Tool Library Name: session_18_create_report.tls		
工具画像	ID	工具の説明
	[XXX]	[XXX]

- [工具画像]の列で右クリックしてメニューから「セルのプロパティ」をピック

セルのプロパティ

レイアウト

水平方向の配置

default

▼

幅

ピクセル単位

パーセント単位

垂直方向の配置

default

▼

高さ

ピクセル単位

パーセント単位

結合された行

結合された列

Header cell

罫線

色

選択

自動

罫線の太さ

1

背景

色

選択

自動

背景画像を使用


参照


スタイル

▼

OK

キャンセル

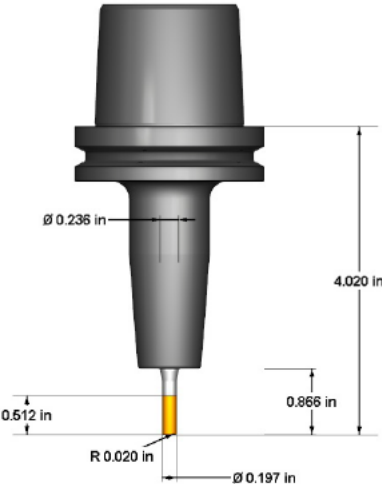
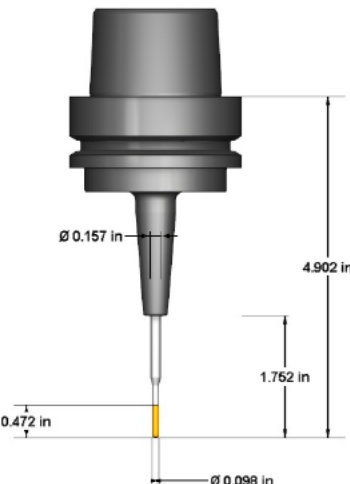
- セルの高さや幅を調整する
- [テンプレート]ウィンドウのリボンバーで、 (別名で保存)
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session_18_report_template.vctemplate
- 保存

- [テンプレート]ウィンドウ>[レポートの作成]グループ>  (PDF)でレポートを作成



TOOL LIBRARY REPORT

Tool Library Name: [session_18_create_report.tls](#)

 <p>3</p>	<p>MILL_D0.197_R0.0197</p>
 <p>4</p>	<p>DRILL_0.0984</p>

- 工具マネージャーを閉じる

セッション 18 (v9.6)

ベリカットで、以下の手順を踏みます。

- | | |
|-------------------------|-----|
| (1)プロジェクトレポート設定の自動保存 | 2 項 |
| (2)シミュレーションを実行してレポートを作成 | 3 項 |
| (3)レポートテンプレートをレビュー | 4 項 |

2. 工具交換ごとに切削ワークのイメージを保存するよう設定

- リボンバーから「プロジェクト」タブ>「設定」>「自動保存」タブ

U 設定

プロパティ

出力ファイル

Gコード出力

Gコード 拡張設定

APT 設定

自動保存

インプロセス

自動保存

工具交換時

テキスト

切り削り行数

1000

ファイル終了時

各ファイルの最後

インプロセス ファイル

autosav.ip

エラー時にファイル出力

ON

保存ファイル数の上限

1

ファイルをリセットするカウンター

シミュレーションごとに

インプロセス ファイル

autoerr.ip

ビューキャプチャー

自動保存

工具交換時

テキスト

切り削り行数

1000

ファイル終了時

各ファイルの最後

処理開始時

ビューキャプチャー ファイル

autosav

プロパティ...

エラー時にファイル出力

ON

保存ファイル数の上限

1

ファイルをリセットするカウンター

シミュレーションごとに

ビューキャプチャー ファイル

autoerr

ベリカットソリッド

自動保存

工具交換時

テキスト

切り削り行数

0

ファイル終了時

各ファイルの最後

ベリカットソリッド ファイル

ベリカットソリッド

プロパティ...

エラー時にファイル出力

ON

保存ファイル数の上限

1

ファイルをリセットするカウンター

シミュレーションごとに

ベリカットソリッド ファイル

レポート

最後にレポートを作成

ファイルの最後まで

最後にレポートを見る

フォーマット:

テキスト

HTML

PDF

ファイル

マシンの情報テーブル

最後に区切りデータファイルを作成

既存ファイルに上書き

セパレーター:

コンマ

セミコロン

タブ


ファイル

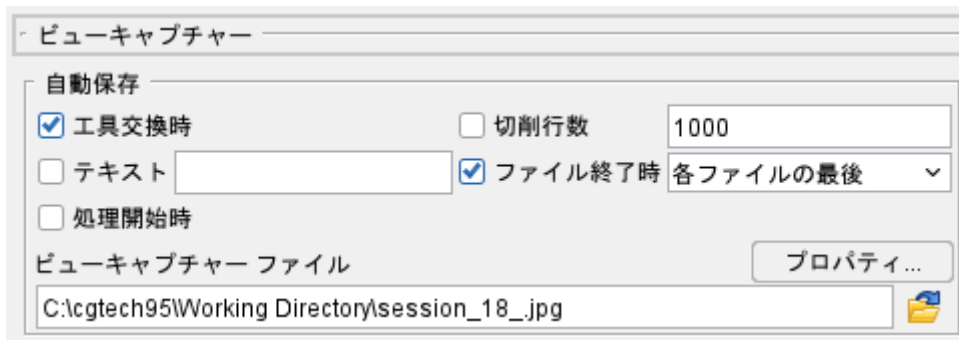
*_metrics.csv

更新

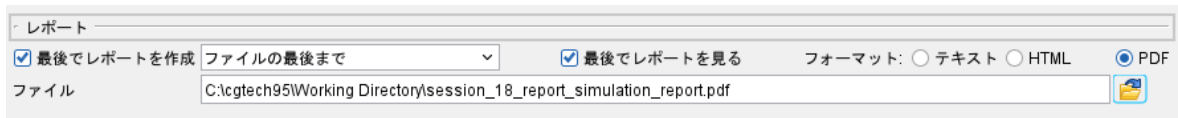
取り消し

注記: [設定]ウィンドウ:[自動保存]タブでは、インプロセスファイル、ビューキャプチャー画像ファイル(PostScript、EPSF、TIFF、JPEG、PNG など)、ベリカットソリッドファイル(vct)を自動的に保存する設定ができます。保存はユーザーが指定したイベントか、NC プログラム処理中にエラーを検出した場合に、行います。

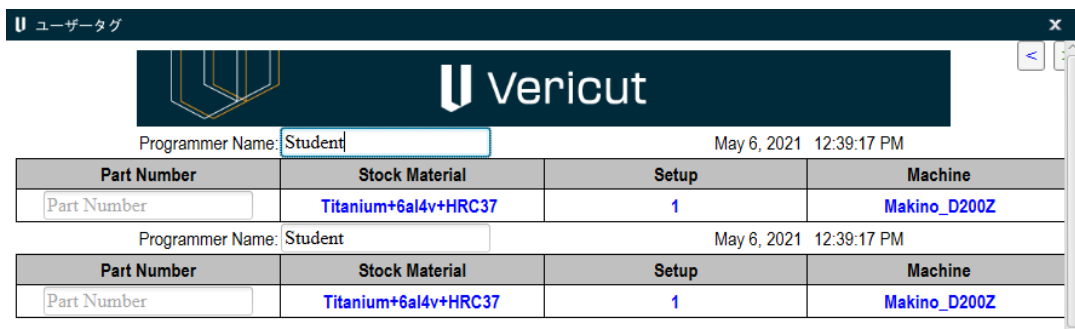
- ・「ビューキャプチャー」セクションで、「工具交換時」と「ファイル終了時」にチェック
- ・「ビューキャプチャーファイル」で、 (参照)を選択
- ・ショートカット=作業フォルダー
- ・ファイル名=session_18_
- ・更新




- 「レポート」セクションで、「最後でレポートを作成」、「最後でレポートを見る」、「PDF」にチェック
- (参照) から
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session_18_report_simulation_report.pdf、 更新




- OK でウィンドウを閉じる
- リボンバーの「ユーザータグへの入力」から[ユーザータグ]ウィンドウを開き、プログラマー名を設定
- OK



3. シミュレーションを実行
 - 材料ビューを適切な表示に修正
 -  (連続実行)




U Vericut

Programmer Name: Student
2025年9月29日 16:34:05

Part Number	Stock Material	Setup	Machine
	Titanium+6al4v+HRC37	1	Makino_D200Z

CYCLE AND PROGRAMMING INFO

Machine Time (h:mm:ss) 0:54:49 Total ERRORS: 9


Optimized Time (h:mm:ss) 0:54:49 Total WARNINGS: 0

Time Difference: 0%

VERICUT FILE SUMMARY




File Type	File Name
プロジェクトファイル	session_18_create_report.vcproject
マシンファイル	generate_reports.mch
基本コントロールファイル	generate_reports.cdl
工具ライブラリーファイル	session_18_create_report.fs
NC プログラム	vericut_setup_1.nc

TOOL SUMMARY

Tool ID	Tool Description	Dimensioned Tool Image	Warnings	ERRORS
1	MILL_D0.787_R0.039		0	8

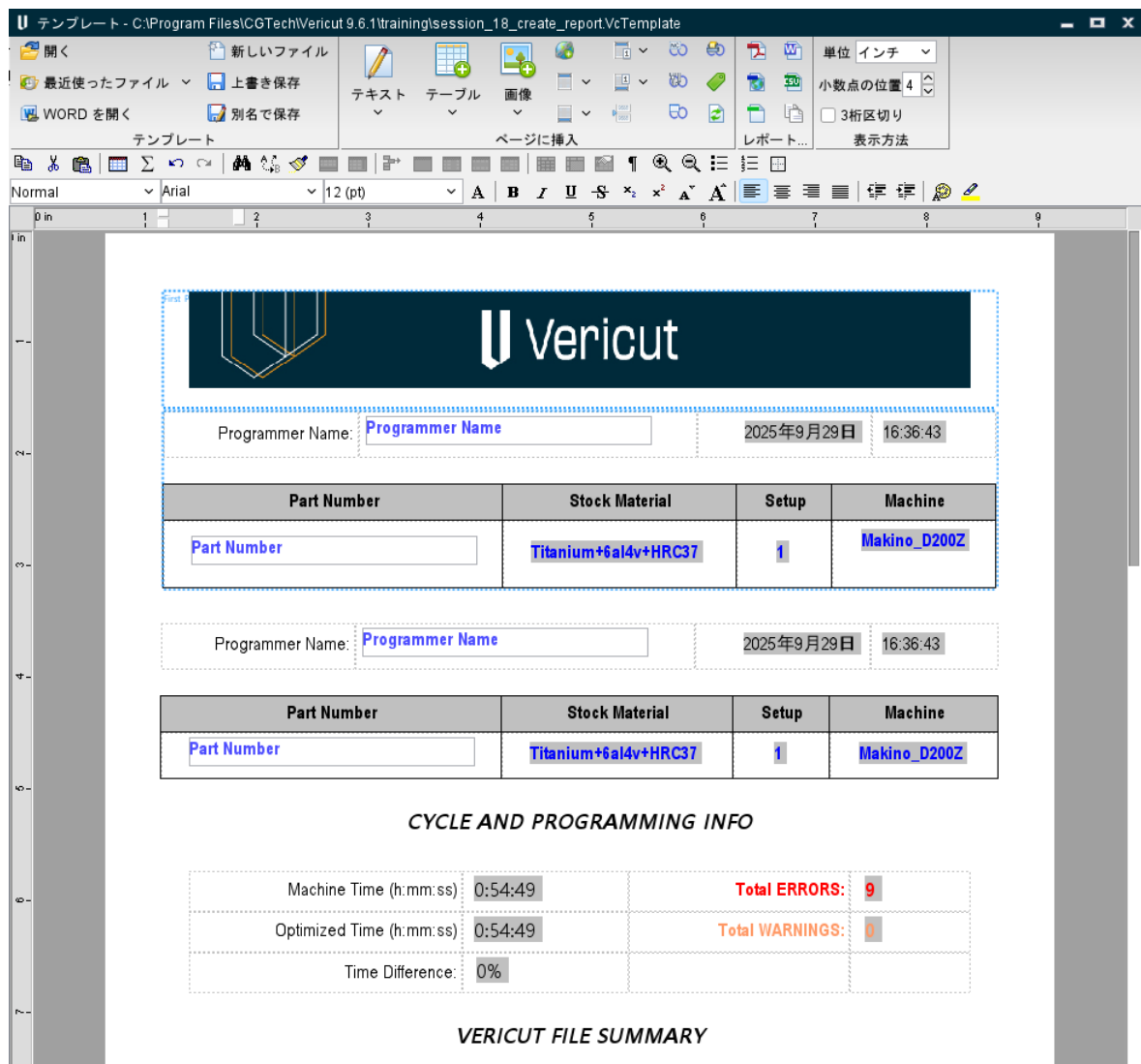
Programmer Name: Student
2025年9月29日 16:34:05

Part Number	Stock Material	Setup	Machine
	Titanium+6al4v+HRC37	1	Makino_D200Z

Thumbnail	Comments
	ビューキャプチャー: 工具交換: 行番号: 11
	ビューキャプチャー: 工具交換: 行番号: 2963
	ビューキャプチャー: 工具交換: 行番号: 3390

4. レポートテンプレートをレビュー

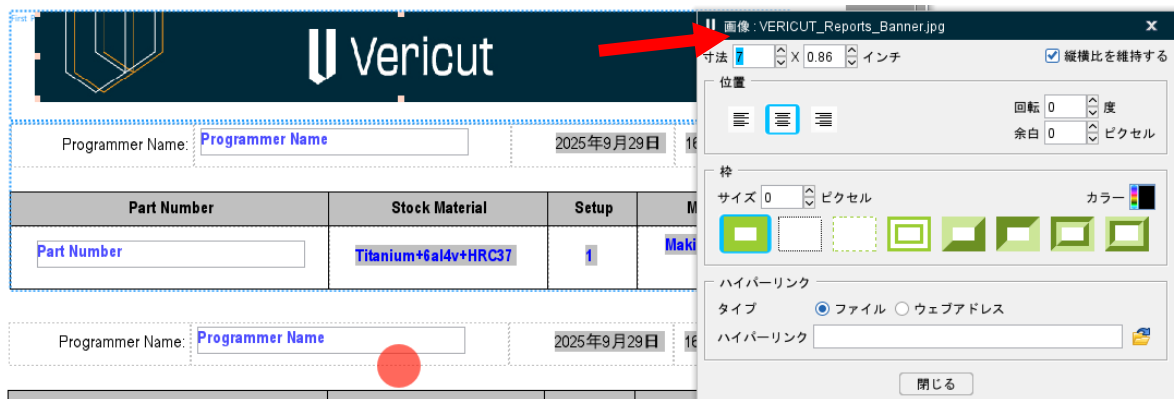
- リボンバーから[各種レポート]タブ>[テンプレート]>プルダウンリストから[編集]



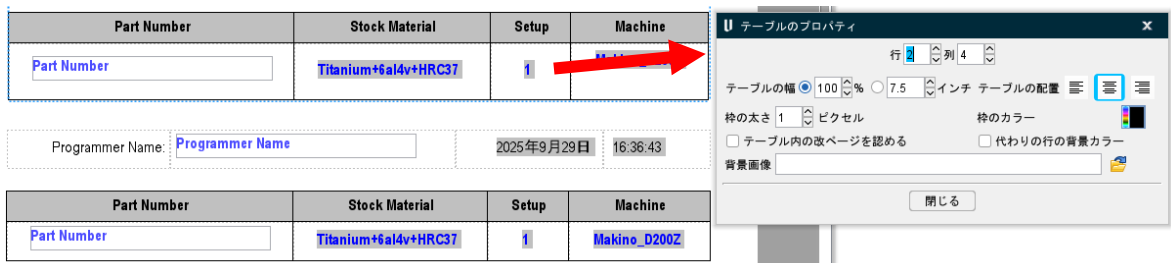
- 他の機能(テーブル、画像、ヘッダー、フッター、テキストなど)についてもレビューし、レポートテンプレートの細かな修正はヘルプを参照する

セッション 18 (v9.6)

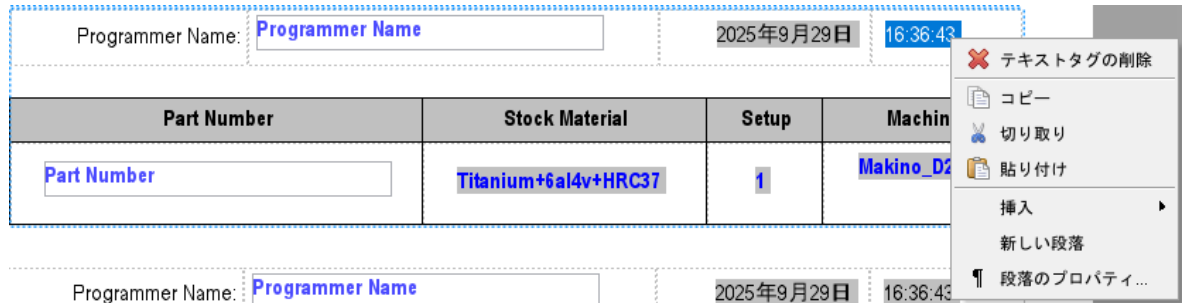
画像: [画像]ウィンドウを表示し、ペリカットで作成した画像やファイルからのカスタム画像を、レポートテンプレートに追加できる




テーブル: [テーブル]ウィンドウを表示し、自分で設計したテーブルを、ペリカットレポートに追加できる

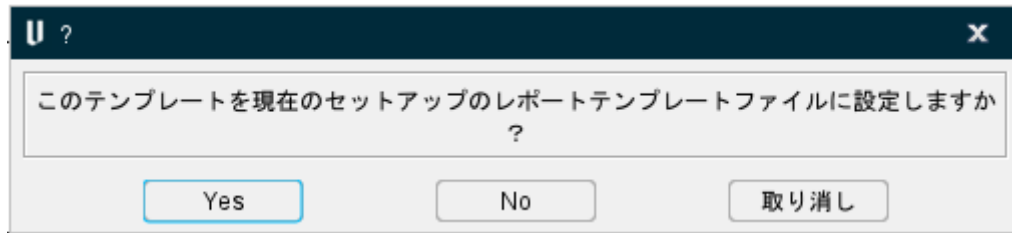


テキスト: レポートテンプレートにテキスト関連データを追加できる



- [テンプレート]ウィンドウのリボンバーで、 (別名で保存)
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session_18_report_template.vctemplate
- 保存

- [テンプレート]ウィンドウを閉じる



- Yes

レポートテンプレートは保存され、ベリカットプロジェクトから参照可能となります。このテンプレートは、VMC (プロジェクトテンプレート)に追加できます。

5. プロジェクトの設定を保存する

- リボンバーから[ファイル]タブ>[別名で保存]
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session_18_create_report.vcproject
- 保存

6. まとめ

このセッションでは、プロセス文書(ベリカットレポート)の作成方法を見ました。レポートには工具マネージャーレポートとシミュレーションレポートがあり、切削工具の画像、工具交換時の切削ワークの画像、切削工具ごとの情報を表示しました。